

## はじめに

各地の方言の中には、地域特有の表現でありながら方言だと認識されていない「気づかない方言」と呼ばれるものがある。特に共通語と同形の語が、共通語では使わない意味で用いられるような場合は特に気づきにくい。「おかしい」が「はずかしい」、「すぎる」が「よりかかる」、「ぐれる」が「捻挫する」のように用いられると、コミュニケーションの上で誤解を招いてしまうこともしばしば生じる。

同じ呼び名であっても指示するものが異なるような場合も紛らわしい。山梨の食堂ではメニューに「かつ丼」と「煮かつ丼」が並んでいる。「かつ丼」は、ご飯の上にキャベツととんかつが乗せられた、いわゆるとんかつ定食のどんぶり版なのである。卵でとじた一般的な「かつ丼」

は「煮かつ丼」と注文しなければ食べられない。逆に、山梨出身の知人が東京で「かつ丼」を食べようと思ったら揚げ物なのに煮られていてびっくりしたという話もある。日本国内なのに言葉が通じないという状況に陥るのである。

このような地域特有の表現を本書では広く方言と捉え、題名も、東京の「きつねそば」を大阪で食べる時は「たぬき」と注文しなければならぬことに由来する。

当然のごとくドヤ顔で発した表現に、「えっ!？」と返される、そんな方言のおもしろさを本書で味わっていただければ幸いである。

はじめに 002

▼あ

あなへ 010  
 あずかる 011  
 あたる 012  
 あし 013  
 あせぬ 014  
 あやまち 016  
 いか 017  
 ぐあいなご 018  
 ぐたぬ 019  
 ぐご 020  
 ぐちぬ 021  
 ぐたご 022  
 ぐたまご 023  
 ぐやごご 024

くちろち 025

くご 026  
 くるゆる 027  
 くるご 028  
 くるおゆる 029  
 かくご 030  
 かくぬ 031  
 かくかり 032  
 かくごへ 033  
 かくぬちぬ 034  
 かくごへ 036

▼か

かく 037  
 かけぬ 038  
 かくぬ 039

かち 040

かたご 041  
 かためぬ 042  
 かなご 043  
 かぶぬ 044  
 かかぬぬ 045  
 かまぬ 046  
 かむ 047  
 かな 048  
 かなご 049  
 かなかう 050  
 ガレージ 051  
 かにご 052  
 かにごへ 054  
 かにぬ 055  
 かにご 056

かぬ 058

くやぬ 060  
 くたへ 061  
 くごへ 062  
 くご 063  
 くぬ 064  
 くむ(朋れる) 066  
 くむ(湯きたぬ) 067

くちぬ 075

くちぬぬ 076  
 くちぬぬ 077  
 くちぬ 078  
 くち 079  
 くちご 080  
 くちぬ 081

▼ち

ちぬ 082  
 ちぬへ 083  
 ちぬち 084  
 ちぬへ 085  
 ちぬちち 086  
 ちかち 087  
 ちかへ 088  
 ちかご 089  
 ちかごち 090

くちぬぬ 091

くちぬぬ 092  
 くちぬぬ 093  
 ちかぬぬ 094  
 ちかぬぬ 096  
 ちぬ 098  
 ちかぬ 099  
 ちかぬぬ 100  
 ちかぬ 101  
 ちかぬぬ 102  
 ちかぬぬ 103

▼た

たごご 104  
 たごへ 105  
 たかへ 106  
 たかちぬぬ 107  
 たかぬぬ 108

たへ 109

たかぬぬ 110  
 たぬぬ 112  
 たぬぬ 114  
 たぬぬぬ 115  
 たぬぬ 116  
 たぬぬぬ 117  
 ちり 118  
 ちかぬぬ 119  
 ちかぬぬ 120  
 ちかぬぬ 122  
 ちかぬぬ(ヤンナカチぬぬ)  
 ちぬ 124  
 ちぬぬ 125  
 ちかぬぬ(ぬぬ) 126  
 ちかぬぬ(ぬぬ) 127  
 ちぬぬ 128

ちかぬぬ 129

ちぬぬ 130  
 ちかぬぬ 131  
 ちかぬぬ 132  
 ちかぬぬぬ 133  
 ちかぬぬ 134  
 ちかぬぬ 135  
 ちかぬぬぬ 136

▼な

なぬぬ 137  
 なぬち 138  
 なかぬぬ 140  
 なかぬぬか 141  
 なかぬぬぬ 142  
 なへ 144  
 なかぬぬ 145  
 なかぬぬぬ 146

こなて 147  
 こやじや 148  
 のやぢね 149  
 のぢね 150  
 こぞう 201  
 ちぢ 202  
 ちぢ 203  
 ちぢぢぢ 204

▼は

はじね 151  
 はかぢか 152  
 はく 153  
 はじやぢ 154  
 はじね 155  
 はぢ 156  
 はそふちね 157  
 はね 158  
 はね 160  
 はね 161  
 はぢぢ 162  
 はじぢぢ 163  
 はぢぢぢぢ 164  
 ひぢぢ 165  
 ひぢぢぢ 166  
 はぢぢ 168  
 はぢね 169  
 はぢ 170  
 く心 171  
 はじね 172  
 はね 173  
 はぢぢ 174  
 はそふ 175  
 はぢぢぢ 176  
 はぢぢぢ 177

▼ま

まかぢぢ 178  
 まぢね 180  
 まへね 181

▼ち

ちぢぢ 196  
 ちぢぢね 198  
 ちぢ 199  
 ちぢぢぢ 200

▼ら

りぢぢ 206  
 りへへ 207  
 わぢぢぢぢ 208  
 わじ 209  
 わぢぢ 210

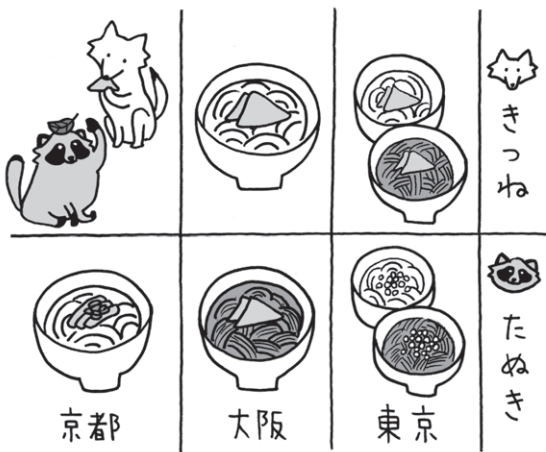
コラム

観光誘致と方言 015  
 号今の方言 035  
 擬態語の方言 053  
 共通語に置き換えにくい方言 057  
 酒の名付け 059  
 交通安全・防犯対策で活躍する方言 065  
 地名の東西差 095  
 とことこの方言 097  
 食の東西差① 111  
 食の東西差② 113  
 じゃんけんのかげ声 121  
 学校方言① 139  
 学校方言② 143  
 「最下位」をあらわす方言 159  
 若者語になった方言 167  
 味覚をあらわす方言 179  
 方言キャラクター 185  
 方言ーCカーズ 191  
 方言ロストフ 197  
 略称の方言 205

おわりに 212

さくいん

# たぬき



られたわけだ。  
つまり、「きつね」と「たぬき」は、東京では具の違いであるが、大阪では蕎麦かうどんかの違いであって、具は油揚げと決まっているのである。

さらに、おとなり京都の「たぬき」は、さざんだ油揚げの上から葛餡くずあんをかけたうどんをさすから、ややこしくなってくる。

ちなみに、揚げ玉と油揚げをのせたものは「むじなそば(うどん)」などと呼ばれているようだ。また、大阪では、揚げ玉がのったものを蕎麦でもうどんでも「はいから」と呼ぶことがある。

東京では、うどんであれ蕎麦そばであれ、「揚げ玉(天かす)」がのつていれば「たぬき」と呼ぶ。ところが、大阪で「たぬき」を注文すると、甘辛く煮た油揚げをのせた蕎麦が運ばれてくる。東京の「きつね蕎麦」が「たぬき」に化けてしまったのである。

もともとうどんが標準的な大阪の食文化のなかでは、甘辛く煮た油揚げをのせた「うどん」が「きつね」として食されてきたのである。そこに標準から外れた蕎麦を使ったことで「たぬきに化けた」ととらえ

## column

### 食の東西差 ②

同じ食べ物なのに関東と関西で呼びかたが異なりとまどうことがある。

よく知られているのが東の「肉まん」に対する西の「ぶたまん」だ。関西では「肉」と言っただけで牛肉をさすことが多く、「肉じゃが」や「肉うどん」は牛肉を使用している。そのため豚肉入りということをあえて強調しているのである。

その他、「かけうどん/素うどん」「チャーハン/焼きめし」「鶏肉/かしわ」「メンチカツ/ミンチカツ」「串揚げ/串カツ」「炊き込みごはん/かやくご飯」「綿あめ/綿菓子」「歌舞伎揚げ/ぼんち揚げ」など、その違いは挙げはじめたらきりが無い。

